



山形県感染症発生動向調査

平成29年第43週(10月23日～10月29日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2017年11月1日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~43週
	第42週	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	第42週	第43週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1201 0.24																11419
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	3988 1.26	44 1.47	35 1.17	▼	20 1.54	18 1.38	▼	1 0.33	1 0.33		11 1.83	11 1.83		12 1.50	5 0.63	▽	1625
咽頭結膜熱	1390 0.44	59 1.97	78 2.60	▲	47 ◎3.62	56 ◎4.31	▲		3 1.00	△	8 1.33	18 ◎3.00	▲	4 0.50	1 0.13	▽	937
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	5678 1.80	131 4.37	117 3.90	▽	58 4.46	57 4.38	▽	2 0.67	2 0.67		52 ◎8.67	46 ◎7.67	▽	19 2.38	12 1.50	▽	5884
感染性胃腸炎	10614 3.36	57 1.90	87 2.90	▲	24 1.85	58 4.46	▲	5 1.67		▽	19 3.17	18 3.00	▽	9 1.13	11 1.38	△	5946
水痘	1044 0.33	18 0.60	14 0.47	▽	11 0.85	3 0.23	▽		1 0.33	△	6 1.00	9 1.50	▲	1 0.13	1 0.13		516
手足口病	5630 1.78	80 ◎2.67	98 ◎3.27	▲	9 0.69	11 0.85	△	29 ◎9.67	27 ◎9.00	▽	12 ◎2.00	45 ◎7.50	△	30 ◎3.75	15 1.88	▽	3374
伝染性紅斑	149 0.05	20 0.67	13 0.43	▽	4 0.31	2 0.15	▽	1 0.33	1 0.33		14 ◎2.33	10 ◎1.67	▼	1 0.13		▽	625
突発性発しん	1289 0.41	19 0.63	22 0.73	▲	3 0.23	4 0.31	▲	3 1.00		▽	8 1.33	10 1.67	▲	5 0.63	8 1.00	▲	805
百日咳	38 0.01																24
ヘルパンギーナ	1298 0.41	9 0.30	12 0.40	△	4 0.31	5 0.38	△				1 0.17	1 0.17		4 0.50	6 0.75	▲	1232
流行性耳下腺炎	1079 0.34	3 0.10	10 0.33	△		7 0.54	△	1 0.33	1 0.33		1 0.17	1 0.17		1 0.13	1 0.13		557
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	6 0.01																
流行性角結膜炎	570 0.82	7 0.88	6 0.75	▽	5 1.25	5 1.25					2 2.00	1 1.00	▽				155
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	4 0.01		3 0.30	△		3 0.75	△										81
クラミジア肺炎	6 0.01																
マイコプラズマ肺炎	177 0.37	4 0.40	6 0.60	△	2 0.50	3 0.75	△	2 2.00	2 2.00						1 0.33	△	189
細菌性髄膜炎	14 0.03																4
無菌性髄膜炎	17 0.04																8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者		1			
	無症状病原体保有者			2	1	
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	1				型別:O血清群不明 VT1。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1			1	※内、第41週追加報告1件。 肺炎球菌ワクチン接種歴:4回 2件。

<通信欄>

※トピックスで、手足口病、咽頭結膜熱について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	6	11	8	4	3	2				1					35
咽頭結膜熱		2	18	16	12	12	11	2	4		1				78
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			6	8	4	17	17	15	12	7	6	20	2	3	117
感染性胃腸炎		4	11	13	15	11	10	13	1	4	1	3	1		87
水痘		2	1		1	2	2	1	2	2		1			14
手足口病		4	32	26	21	8	2	3	1	1					98
伝染性紅斑					3	1	4	2	2					1	13
突発性発しん		7	15												22
百日咳															
ヘルパンギーナ			4	2	4		1	1							12
流行性耳下腺炎				1		4	4	1							10

<平成29年9月 月報>

2017年10月25日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～9月	
	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月	8月	9月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	24	14	9	6	10	4	1	2	4	2	164
	定点当り	2.40	1.40	2.25	1.50	10.00	4.00	0.50	1.00	1.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	5	7	2	2			1	2	2	3	56
	定点当り	0.50	0.70	0.50	0.50			0.50	1.00	0.67	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	4	2	2	1					2	1	16
	定点当り	0.40	0.20	0.50	0.25					0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数	3	1	1				1		2		31
	定点当り	0.30	0.10	0.25				0.50		0.67		
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	7	6	1		1		1		5	5	59
	定点当り	0.70	0.60	0.25		1.00		0.50		1.67	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	21	27	11	16	1	2		3	9	6	192
	定点当り	2.10	2.70	2.75	4.00	1.00	2.00		1.50	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

<トピックス>

【手足口病情報】

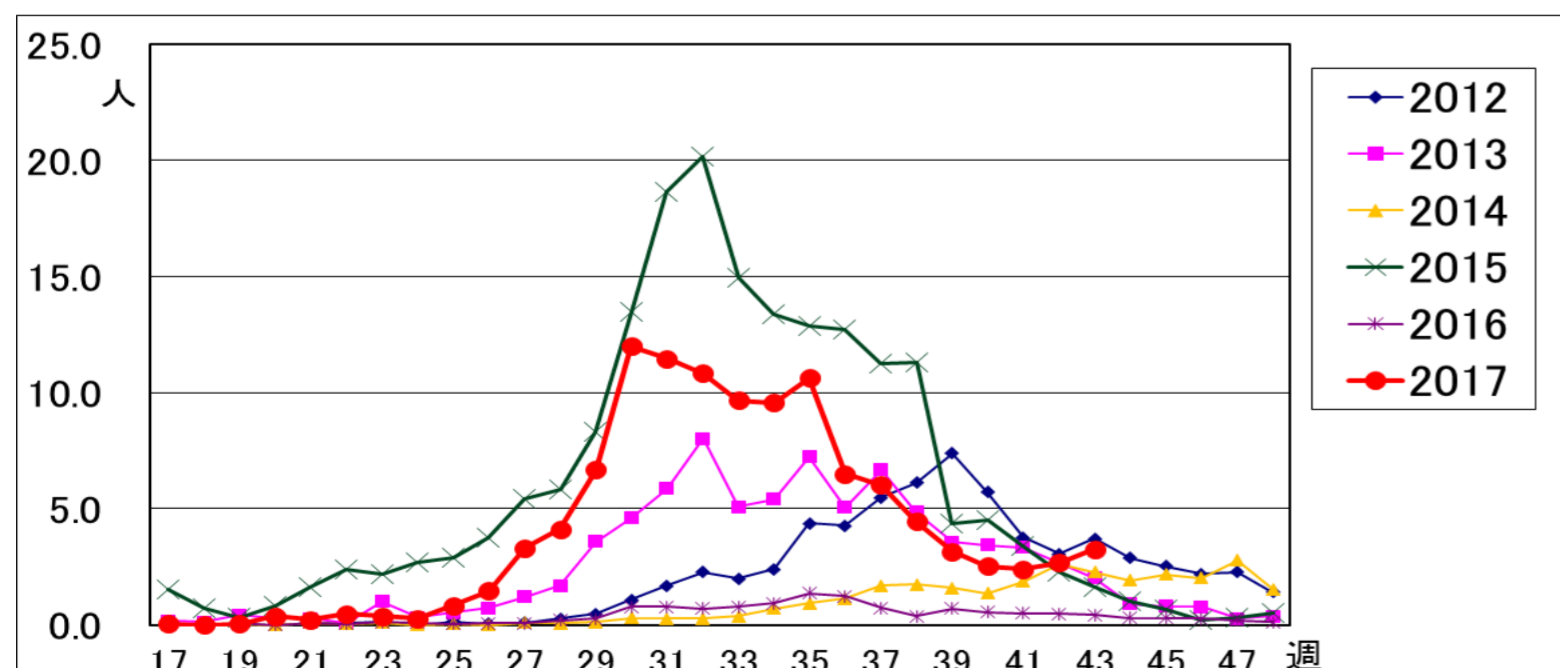
手足口病の定点あたり報告数が、最上地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

・手足口病
警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人
・第43週 定点あたり報告数 (山形県:3.3人)
村山地区 0.9人、最上地区 9.0人、置賜地区 7.5人、庄内地区 1.9人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(10月25日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が59件、コクサッキーウイルスA16が6件、エンテロ71が8件検出されています。

2. 定点あたり報告数の推移(山形県)



【予防法】

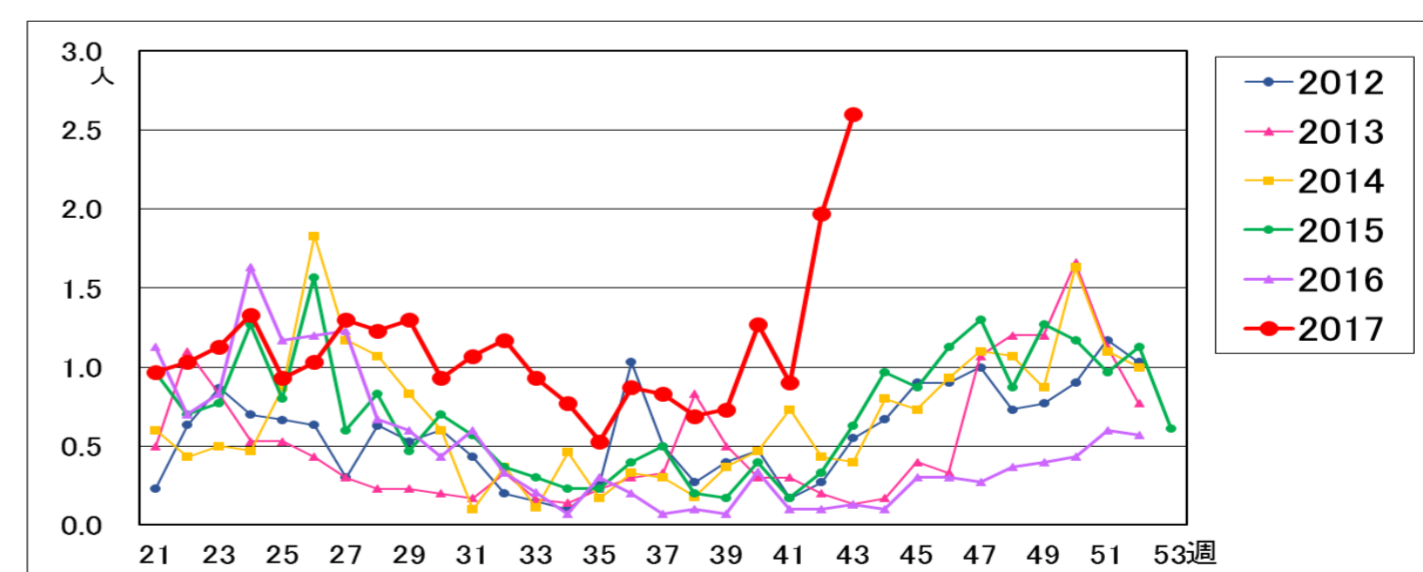
感染経路は、主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染ですが、便中に排泄されたウイルスや、水疱内容物からも感染します。特に便中には長期にわたってウイルスが排泄されますので、手洗いをしっかりと、排泄物を適切に処理することが大切です。

【咽頭結膜熱情報】

咽頭結膜熱の定点あたり報告数が、村山地区、置賜地区で警報レベルとなっています。

・咽頭結膜熱
警報開始基準値:3人 警報終息基準値:1人
・第43週定点あたり報告数 (山形県:2.6人)
村山地区 4.3人 最上地区 1.0人 置賜地区 3.0人 庄内地区 0.1人

・定点あたり報告数の推移(山形県)



咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症です。通常夏期に地域全体で流行し、6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月にピークとなります。プールでの感染も多く見られることからプール熱とも呼ばれます。

【症状】 発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度続きます。眼に永続的な障害を残すことはありません。

【予防法】 感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。